



東京多摩スマイルワイズメンズクラブ

chartered on 2016.7.17 (2023.7.1 東京多摩みなみクラブと東京町田スマイリングクラブ合併)

2023年
8月号
(第2号)

今月のことば

「世界の民は集められて、ひとつのからだ、ひとつの糧、ひとつの望み、共に分かち、ひとりの神の御民となる。」(讚美歌 21 390 番 2 番の歌詞より) (綿引康司選)

(当クラブは多摩市社会福祉協議会・町田市社会福祉協議会ボランティアセンターの登録団体です)

2023~2024 年度 主題

クラブ会長 伊藤幾夫「さあ、ワイズの楽しさを広めよう！」
 東新部部长 今井武彦(東京むかで)「ALL 東新部、継続・発展！」
 東日本区理事 山田公平(宇都宮)「未来のために今、学びと気づきを！
 未来のために、自信を育み、真の喜びに出合う！」
 アジア太平洋地域会長 利根川恵子(川越)「変革のための光となろう！」
 国際会長 ウルリック・ラウリドセン(デンマーク)「輝かそう、あなたの光を」
 《クラブ役員》会長 伊藤幾夫 副会長 為我井輝忠 直前会長 深尾香子、為我井輝忠
 書記 田中博之 副書記 尾張日出夫 会計 綿引康司 副会計 城田教寛
 担当主事 小野 実

今月の強調テーマ: 「戦略 2032: ワイズ 100 年の昨年 2022 年に制定された、10 年後を見据えた中長期計画」

8 月「納涼例会」プログラム

日時 8 月 1 日(火) 18:30~20:30
 会場: ベルブ永山調理室 (Zoom はありません)
 会費: なし (クラブファンドから支出)
 お友達・お知り合いをお誘いください。

司会: 城田教寛

- *開会点鐘 伊藤幾夫会長
- *ワイズソング 一同
- *今月のことば 綿引康司
- *ゲスト/ビジター紹介 会長
- *乾杯 会長
- *懇親のとき
 今回は、レトルトカレー(3面に詳細)を用いた料理、ぼんぼこ農園(6面に詳細)で穫れたての野菜も味わいます。(即売会もあり)
- *YMCA ニュース、各種アピール等
- *スマイル献金
- *YMCA の歌
- *閉会点鐘 会長

ビバ! 東京多摩スマイルクラブ!

本年もいよいよ夏本番を迎え、確実に温暖化という地球の嘆きと共に、常識を遥かに覆す暑さが続いております。皆様体調はいかがでしょうか?水分補給は最も手軽で有効的な熱中症予防です。活動中に少しでも集中力がなくなってきたかな?と感じた時が、体が水分を求めているサインです。日頃あまり水を飲まないとおっしゃる方も、この機会に美味しい水との出会いがあるかもしれませんよ!



さて、記念すべき日となった 7/6(木)の東京多摩スマイルクラブ発足式は、リアル&Zoom 含めて錚々たる顔ぶれ! 40 名による圧巻の例会ともなり、まさに新クラブの前途を明るく照らすこととなりましたね。例会では、田中さんのサポートでカメラワークを担当させていただきましたが、発足式における皆様の表情もとても素敵でした。今後の活動としては、引き続きぼんぼこ農園での収穫フォローと、11 月に予定されている町田ボランティア連絡協議会におけるバザー参加を念頭に、新クラブを盛り上げていきます!

(伊藤江理夫記)

8 の Happy Birthday

寺沢邦彦(2 日)、綿引美代子メネット(4 日)、小野実(19 日)、城田教寛(21 日)

7 月 例 会	在籍17名 (内広義会員6名) 例会出席 40名 (内、リアル24名、Zoom16名)	出席 内訳	メンバー 12名	BF 110g(昨年度積み残し分) (少しづつでもお持ちください)	オークション 0円
			メーキャップ 0名		今年度累計 0円
			出席率 100%		
			メネット 0名	ぼんぼこファンド 0円	スマイル 15,820円
			ゲスト・ビジター 28名	今年度累計 0円	今年度累計 15,820円

7月例会報告

東京多摩スマイルクラブとしての初めての例会が、7月6日(木)19時から、玉川学園コミュニティーセンターを主会場として Zoom ハイブリッド方式で開催されました。新クラブの発足式が行われ、また、部長公式訪問の例会でもあり、多くのビジターの皆さんにも参加いただき、新クラブの門出を祝福していただきました。

第1部は開会点鐘、ワイズソング、伊藤会長挨拶、今井部長挨拶、ビジター紹介、深尾直前部長のクラブ合併経過報告、山田東日本区理事の祝辞と続き、会長による決意表明、クラブメンバー紹介が行われました。続いて、今井部長の司式、進藤東日本区会員増強事業主任、加藤(義)東新部会員増強事業主査の立ち合いで、クラブ役員就任式(国際協会制定の式辞の朗読、宣誓)が行われました。続いて、クラブバナーの披露があり、田中からデザインの説明が行われました。なお、バナーの制作費は東新部に負担いただきました。最後に菅谷東京YMCA総主事、進藤さん、加藤(義)さんから祝辞をいただき、閉会点鐘で、第1部を20時過ぎに終わりました。



第2部では、他クラブから参加の東新部役員のみならず(伊丹書記、比奈地国際・交流事業主査、神保部大会実行委員長)他から Zoom 参加者を含めて挨拶をいただき、小野さんから YMCA ニュース、石田さんから益金の使途を含む第5期プランター野菜講座の報告が行われた。スマイル献金、YMCAの歌でほぼ定刻に会を閉じました。

当クラブの出席率は100%。幸先良いスタートとなりました。(田中記)

<当クラブの出席者>石田、伊藤(幾)、伊藤(江)、小野、尾張、城田、田中、為我井、寺沢、深尾、藤田、綿引

<ビジター>【宇都宮】大久保知宏、山田公平【石巻広域】清水弘一【埼玉】衣笠輝夫、【東京武蔵野多摩】板村哲也、渡辺大輔【松本】大和田浩二【甲府21】山本俊一【東京八王子】小口多津子、並木真、山本英次【東京たんぽぽ】小原史奈子【東京】江口耕一郎、加藤義孝、佐藤茂美、菅谷淳、進藤重光、長澤弘、比奈地康晴【東京むかで】伊丹一之、今井武彦、神保伊和雄【東京世田谷】峰毅、渡邊実帆【東京町田コスモス】加藤祐一、権藤徳彦、松香光夫【十勝】山下真

(下線は Zoom 参加) 合計出席者数:40名

7月第2例会(運営会議)報告

7月10日(月)19:00から、第2例会(運営会議)が Zoom にて開催され、以下のことが報告、話し合われました。

- 7月例会の振り返り:玉川学園コミュニティーセンターのWi-Fiに難がある。尾張さんがセンターに申し入れる。
- 東京多摩みなみクラブ 2022-23 年度会計報告:余剰金を有効に活用していく。
- 今後のクラブの収支については、原則として旧2クラブの会計で按分する。
- 2023-24 年度における当クラブメンバーの東日本区、アジア太平洋地域、国際協会における役職の紹介
- プランター野菜講座、ぼんぼこ農園関連:旧東京町田スマイリングメンバーにぼんぼこ農園を案内する。
- 多摩社協、町田社協関連:多摩・福祉フェスタ10/22日。町田・福祉バザー11/4
- 例会、ブリテン当番表:承認
- 8月例会:納涼例会としてシェアマインドのカレー他を食事とする。広義会員、メネット、コメット、ビジターを含め全て参加費を無料とする。

(田中記)

<出席者>石田、伊藤(幾)、小野、尾張、田中、為我井、深尾、綿引 合計8名

バナー紹介

8月例会で東京多摩スマイルクラブのバナーが披露されました。数回に亘っての統合準備会での皆さんの意見を元にデザインが決まりました。

- 色は、東京町田スマイリングのバナーの黄色をベースにし、文字と下部の多摩丘陵は、東京多摩みなみのバナーの緑色を用いています。

- 「多摩市の木」の山桜を配置し、また、「町田市の鳥」のカワセミを「ぼんぼこたぬき」の腕に停まらせています。「ぼんぼこたぬきは」、「スマイル」に因んで微笑んでいます。

新しい「ぼんぼこたぬき」/カワセミのデザインは、小野さんで、バナーの制作は、富士五湖クラブの原さんをお願いいたしました。(田中記)



8月納涼例会ご案内

シェアマインドと協働

レトルトカレーを食べて支援！

新クラブでは、人数が増えた分いろいろな負担金が大きくなります。これを皆の善意のみに頼ることは是非とも避けたい。そこで以前から親しいNPO法人シェアマインド*から知恵をいただきました。彼らの作るカレーやスープには「農家や商店から出る余剰食材を減らそう」、「食べ物に困っている人を助けよう」「職を失った人に働いて貰おう」、「小さなNPOの活動資金を生み出そう」という沢山の思いが詰まっています。私たちは、

1. 生産者として「食材を提供」し
2. 彼らの活動を広く知らせるために「売って支援」をして、
3. 自クラブの活動資金を蓄えるために「買って支援」を行います。

東京YMCAでも職員のロコミが始まっています。みんなでこの輪を拡げて行きましょう。(深尾記)

***NPO法人シェアマインド**は食品ロス削減、食糧支援を行うNPO法人です。食べ物を通じて、地域の方の健やかな暮らしを応援します。余った食品の寄付など受け付けています。代表理事の松本靖子さんは8月納涼例会にも出席されます。

新生「多摩スマイルクラブ」への思い

新クラブのメンバーについて、お互いのことを知り合いましょ。また、新クラブへの「思い」を語っていただきたいと思ひます。全員で17名ですので、毎回4~5名ずつご紹介したいと思ひます。

《為我井輝忠》

2019年2月に東京町田スマイリングクラブのチャーターナイトが行われました。それを機に入会しましたが、前年からクラブの発足の動きがあり、誘われて何度か参加してました。それから途中で会長を引き受けるなどし、早や4年目を迎えることとなり、これまでの経過に感無量の思ひです。



私は長年教師をし、海外でも3か国(中国、スリランカ、フィリピン)の大学で日本語を教えてきました。教える経験を通して、異なる文化や背景を持つ人と人との交流の大切を感じ、ワイズの活動はそれに合致するものだと確信しています。この7月から東京多摩みなみクラブとの合併で「東京多摩スマイルクラブ」となりましたが、私はこれからも国内だけでなく、広く国際交流の面にも目を向けていきたいと思ひています。「継続は力なり」と言ひますが、これからも邁進して行きたいです。

《深尾香子》

私は、Japan Campaign to Ban Landmines (<https://www.jcbl-ngo.org/>)の発起人のひとりであった伯父の影響により30代で社会貢献活動に加わり、以来、仕事をしながら今に至ります。その間、変わらずテーマにして来たことが「次世代を担う若者たちの声を聴く事」なので、ワイズに出会ったのは必然と思ひています。7/24は為我井由美子メネットと共に、東京YMCAのボランティアに行つて来ました！私たち二人はメン・メネットの枠を越えて、茶の湯の技術を持つ者として、依頼主の意向を汲んでプロボノ活動が出来ます。今後はシェアマインド、慈有塾との繋がりも強固にしつつ、ぽんぼこ農園を町田市民へ公開することにも挑戦しつつ、藤田さんの背中を追いかけ「茶の湯講座」を始めたいです。



《尾張日出夫》

現役時代の私は信用金庫マンでした。入社した時から専らオンラインシステムの開発を担当した所謂システム馬鹿です。



山で写真を撮ることが好きで、登山クラブと写真クラブの会長を務めています。写真クラブの例会で玉川学園コミュニティセンターを利用している関係で同センターの運営委員になり、そこで松香光夫さんに出会い、お誘ひを頂いて旧・町田スマイリングクラブのチャーターと共にワイズメンズクラブに入会しました。私が仕事やクラブ活動で得た教訓は、何事も楽しくなければ効果が出難いと言うこと。新クラブの活動については、皆様と力を合わせて楽しく運営することに努める所存です。

《石田孝次》

クラブ統合は、3年半前の東新部のEMCセミナーでの発題でした。当時のプレゼン資料を見て「ズバリ当たっていた」と実感しています。やはり、クラブが様々な事情を抱え活動できない状態に陥ると自己再生の道は限りなく遠のきます。旧たまみクラブも活動を摸索する中で底なし沼に足を入れてしまった思ひが多々ありました。でも、苦勞しながら独自のクラブの活動を手作りしようとみんなの知恵と結束でクラブ存続の危機を乗り越えてきました。そうやって彷徨いながら再生するクラブは、越冬野菜ではありませんが、打たれ強く、逞しく、元気に頑張れる遺伝子が組込まれているのかも知れません。温室内育ちではなく、異種混合の新たな力が新天地を切り開き、さらに「楽しい」クラブ作りにつながると固く信じています。「多摩スマ」を合言葉に次なる目標に向かって前進しましょう。



《田中博之》

YMCA との関りは小学 3 年生のときに神戸 YMCA のサマーキャンプに参加して以来、リーダー、パートタイムスタッフ、講師、レイマンと 60 年を超えます。ワイズには 2000 年に東京クラブに入会しました。入会早々に国際・交流事業主任、東新部部長などを勤めましたが、2010 年の横浜国際大会事務局長、2011 年の東日本大震災支援対策本部統括を経験したことがワイズの国際性、奉仕活動への思いを強め、2014-15 年に東日本区理事、2018-20 年にアジア太平洋地域会長を務めました。今はリタイアしましたが 損害保険会社に勤務し、IT、広報、総務、経営企画、宇宙保険、ニューヨーク駐在員などの分野で働きました。趣味はバードウォッチング、園芸です。今回の合併が両クラブの強みを活かし、弱みをカバーし、「1+1=2 以上」になることを願っています。



寄稿 不思議なご縁(4)

松林 蓉子



〔寄稿者の松林蓉子さんは昨年 6 月に入会され、これまで直接例会等には出席頂いていませんが、クラブの活動にはいつも関心をお寄せいただいています。長年世界の仏教圏に関心を持ち、千葉県佐原市にあるスリランカ仏教センター（蘭華寺）とのご縁があります。母方の家系は高名な建築家揃いで、YMCA との関わりもあります。従兄の内井昭蔵さんは東京 YMCA 淵野辺青少年センター（1976 年竣工、現存せず）と東京 YMCA 野尻学荘メインホール（1980 年竣工）を設計された建築家でした。さらに昭蔵さんの祖父・伊蔵さんと父親・進さんはそれぞれ函館のハリストス正教会建築とお茶の水のニコライ堂の修復に携われたロシア正教会の重鎮でした。（為我井記）〕

「もしご都合がよければ…」といつもイベントをお知らせくださるのは、飯田淑江さんことケロちゃんである。彼女の旧知のスリランカ女性も、為我井氏から日本語の指導を受けた。珠を糸で貫いて輪とする縁である。私との間柄は大道芸追っかけが加わる。一口に大道芸と言っても、ショー、スポーツ系統、マジック、パントマイム、音楽…とジャンルは数えきれない。それなのに、私が触れたことがあるのは横浜野毛町の民族舞踊くらいである。

昨今はネット情報で知れてわたっている。前夜祭も賑々しく、各種対応企画もある。私ども素人にとって驚嘆することは、大道芸人のテストと審査が難関で、申請許可が出なければパフォーマンスも不可となる場合もある。昔の乞食芸のイメージはどこに消え去ったのであろう。変わらないのは投げ銭である。現在は主催者側の出演料やライブで人気が目ざされて、テレビ等へ道が開かれる時代である。

因みにケロちゃんは玉川大学芸術専攻科出身で、アーティストとエンターテイメントを合わせ持っている。基本芸は「蛙の縫いぐるみ」に楽器を忍ばせ、独自の技法で演奏を披露することである。呼称「ケロ」は、蛙の声に由来する。道ゆく子からステージ、老人ホーム、幼稚園、文化祭、会合等人の集う場所でピアノ、オルガン、手作り楽器何でもござれの奏者である。私の追っかけ歴では、上野や代々木公園、商店街、区役所、公民館をたくさん巡った。かれこれ 10 年を経過した。さかのぼる 500 年、曲芸、香具師、軽業師は放浪芸人と称され、原形は宗教布教であった。神仏の祭文、願人（がんじん）坊主と風俗、習慣、行事も網羅する。バナナの叩き売りやがまの油の口上も大道芸なのである。これらの知識や公園めぐりも、齢 80 半ばの私が胸を弾ませながら追いかける妙味である。東京多摩スマイルの会員の皆様が大道芸で楽しめるのも一興、不思議なご縁で紡いでほしい。（次号へ続く）

百花繚乱

町田で見かけた花々です。左から、ハスの花、ハンカチの木、センニチソウです。（為我井選）



会計担当から会費納入のお願い

ワイズメンズクラブは 7 月から新年度となりました。つきましては、会員の皆様に会費の納入をお願いいたします。新年度からクラブ統合により「東京多摩スマイルクラブ」となりましたが、会費につきましては旧クラブの金額を継承いたします。

「旧多摩みなみ」の通常会員の方は前期分 18,000 円（@3,000 円×6 カ月）、広義会員 9,000 円（@1,500 円）、担当主事 6,000 円（@1,000 円）です。振込口座は従前の『多摩信金 桜が丘支店 普通 0251660 東京多摩みなみワイズメンズクラブ』宛お振込み下さい。

「旧町田スマイリング」の通常会員の方は前期分 12,000 円（@2,000 円×6 カ月）です。振込口座は副会計の城田さんにご確認下さい。よろしくお願いたします。（綿引記）

東新部第1回評議会報告

東新部の2023-2024年度第1回評議会が、7月22日(土)13:30~16:20 東京YMCA 東陽町センター会議室とZoomによるオンラインのハイブリッド方式で開催されました。

当クラブからは、伊藤会長(部LT委員長)、田中書記、深尾さん(部直前部長)、石田さん(部会計)、城田さん(部ユース事業主査)、そして綿引(部CS/Yサ事業主査)の6名が出席しました。なお出席者は会場参加13名、Zoom参加10名の計23名でした。定刻の13:30に今井部長の開会宣言(点鐘)、ワイズソング、聖句朗読・祈祷のあと、深尾直前部長から今井部長への部旗引継式、部役員就任式、今井部長による所信表明とセレモニーを経て議事に入りました。



審議事項は、第0号議案で未承認となっていた「2021-2022年度第3回評議会議事録」が承認され、第1号議案で「2022-2023年度第3回評議会議事録」が承認されました。第2号議案の「次期部長選任の件」は継続審議となっています。第3号議案「次々期部長・次期監事候補者指名委員委嘱」承認、第4号議案「前年度決算報告」および第5号議案「会計監査報告」が承認、第6号議案「今年度修正予算案」では、部役員活動補助費の増額、AYC参加支援の倍増(規定の1万円を2万円に)など部の活動の活性化を目指す予算案としたことなどが石田会計から説明されました。質問や意見等の議論を経て、承認されました。なお報告事項としては、東日本区各委員会等の報告、前年度各クラブ事業評価会、部大会の準備状況、各事業報告、各クラブの活動報告等が行われました。懸案となっている東京センテニアルクラブの現況について、徐直前会長から報告があり、引き続き東新部の支援を要請され、部全体で支えていく事が確認されました。東新部から久々にAYCに参加するユース2名に対して、各クラブからも支援をお願いしたいと石田会計からのアピールもなされました。松香監事による講評のあと、今井部長の閉会挨拶(点鐘)をもって16:20に終了しました。(綿引記)

新クラブ会員は次の17名です(五十音順)

石川良一*、石田孝次、伊藤幾夫、伊藤江理夫、井上富子*、小野実、尾張日出夫、佐々木清勝*、城田教寛、滝口恵子*、田中博之、為我井輝忠、寺沢邦彦*、深尾香子、藤田智、松林蓉子*、綿引康司(*印の方が広義会員の6名です)

第5期プランター野菜講座(夏季コース)最終回

5月9日(火)に第1回講座が開始され早や2ヶ月が過ぎ、7月4日(火)に最終回となる5回目の講座を迎えました。忙しいスケジュールの中、やりくりして都合をつけていただき16人がZoom画面に登場してくれました。最終回は、趣向を少し変えてみました。講座終了後の現在栽培中の野菜のアフターケアにポイントを置き、藤田講師にアドバイスをお願いしました。その後、生育写真によるマンツーマンのワンポイントレッスンに入り、みんなでQ&A



を繰り返しました。そして、「よかった点」「反省点」をみんなで振り返ってみました。

講座の最後に、本講座は、チャリティー講座としての一面もあり、これまで継続的に支援してきた東京YMCA、地元多摩市のNPO法人子ども食堂の「ほくの家」、高卒資格認定試験受験者向け無料塾の「慈有塾」への参加費からの寄付金の贈呈について参加者の同意を得て計4万円の寄付が原案どおりに決まりました。内、慈有塾には予めリクエストのあったホワイトボードに張るタイプの白色のマグネットシートを3枚と黒板消し、マーカーペンをセット



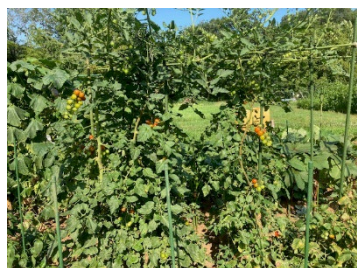
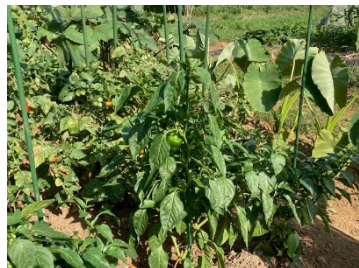
で贈呈することにしました。品物が到着次第聖蹟桜ヶ丘の教室にお届けに上がります。参加したみなさんからは、次の回への期待の声が多く聞かれました。嬉しい悲鳴です。(笑)

「ほくの家」には、深尾さんが7月7日現金10,000円をお届けしました(=左写真)。また、「慈有塾」には、石田と深尾さんが、7月21日にスタッフの内田さんに現物をお届けしました。(石田記)



ぽんぽこ農園便り

連日の猛暑にもかかわらず、ぽんぽこ農園の野菜たちは、しなだれることもなく元気に育ち、実をつけ、「慈有塾」や「ほくの家」に新鮮野菜を食材として提供できています。これも、ひとえに佐々木清勝さんの日々の手厚いメンテナンスがあつてのことです。



(写真:時計回り ナス、ピーマン、キュウリ、トマト)

今の時期は、太陽がまだ低い位置にある早朝の時間に雑草の駆除、野菜の支柱の整備、防虫ネットの取り付け、葉っぱのチェック、防虫対策など二重三重に手をかけていただいているのです。農村伝道神学校の農園は、多くの人や団体が借りて野菜を育てていますが、我が「ぽんぽこ農園」は、どの農園より整備され、美しく、数多くの種類の野菜が常に生き生きと育っています。農園に集まる人のお手本農園として際立った存在感を示してくれています。クラブ員一同、佐々木さんの日々のお世話に心から感謝を感謝したいと思います。(石田記)

今後の予定

- 8/7(月)19:00~20:30 第2例会 Zoom
8/25(金)~29(火) AYC(ユースコンボケーション)
(ネパール)
9/5(火)19:00~20:30 9月例会 玉川学園コミセン
9/11(月)19:00~20:30 第2例会 Zoom
9/18(月、祝)東新部 Y 友広場「ワイワイコンサート」
日時: 13:30~16:30
場所: 東京 YMCA 東陽町センターホール
会費: 2,000 円(軽食付き)
出演: 歌 渡邊実帆(東京世田谷)
シンセサイザー 下山英二
(歌、演奏のあと、歌声ひろば・懇親会)
9/29(金)~10/1(日)ユースボランティア・リーダーズフォーラム

YMCA ニュース

担当主事 小野 実

いつも東京 YMCA 運動推進へのご理解、ご協力に感謝いたします。

1. 今夏は、2019 年以来制限のない YMCA キャンプを実施する予定。合わせて 10 の宿泊キャンプと日帰りキャンプについて、6 月 16 日の受付開始当日の内に、全て定員一杯となりました。また、小学 3 年生から高校生を対象とした海外キャンプ「ダイナミックサマー」は、ハワイ、ニューヨーク、ボストンの 3 コースを設定し、各コース 10 名で実施されます。
2. 山手ウエルネス、ウエルネス東陽町では 6 月 18 日に、ウエルネス御殿山では 7 月 2 日に、「ウォーターセーフティーデイ」として親子着衣泳イベントを開催し、合わせて 38 組 77 名が参加しました。
3. 南居場所事業部および西東京居場所事業部では、言葉や文化の違いから生きづらさや困難を抱える子どもたちをサポートすることを目的に、日本在住の外国にルーツを持つ子どもたちのためのサマーキャンプを 8 月 22 日~24 日に山中湖センターで実施します。また「宿題サマースクール」として、工作やお菓子作り等を一緒に楽しみながら、ユースボランティアリーダーとともに夏休みの宿題に取り組むプログラムも両拠点で実施します。
4. 今後の主な行事日程
 - ・「早天祈祷会」 8 月 1 日 7:00~8:00
会場: 山手センターおよびオンライン
奨励: 小出雅生氏(会員)
 - ・「キッズワールドカップ in 韓国」8 月 7~11 日
会場: ソウル YMCA
 - ・「第 21 回アジア・太平洋 YMCA 大会」
9 月 15 日~20 日
テーマ: 回復力のあるコミュニティとして共に歩む
—Vision2030 を通しての生き方の変革
会場: インド・チェンナイ
 - ・第 26 回会員芸術祭(オンライン芸術祭)
9 月上旬~10 月(東京 YMCA の HP 上に掲載)
 - ・「第 37 回インターナショナル・チャリティーラン」
個人ウォーキング(オンライン) 9/16~23
チームウォーキング(オンライン) 9/23~10/1
チームレース(都立木場公園): 9 月 23 日

編集後記

新生東京多摩スマイルクラブが発足して 2 か月目に入りました。8 月例会ではお互いの懇親を深めるために“納涼例会”を行います。内容に工夫を凝らして、会費は無料にして、私たちが協働する NPO 法人シェアマインドのレトルトカレーと“ぽんぽこ農園”穫れたて野菜で会食します。仲間づくりの意味も込めて、知り合い・お友達を誘いましょう。(i:i)